

「地域の企業」と「芸工大」をむすぶ

おむすび

十二

特集…「何とかしたいを何とかします！」
弘栄設備工業 船橋吾一社長の想い



連載：ともに歩むわが社を語る ② [株式会社 ニューテックシンセイ] 代表取締役 栗原 晃 さん
「もくロック」開発の経験を活かし
コロナ禍の山形に種をまく

「何とかしたいを何とかします！」

弘栄設備工業 船橋吾一社長の想い

弘栄設備工業株式会社 代表取締役 船橋吾一さんに聞く

弘栄設備工業株式会社代表取締役 船橋吾一さんは、配管検査ロボット「配管くん」の開発によって設備業界に全く新しいプラットフォームをつくりました。「感動経営」を経営スタイルとして掲げ、建築系にとどまらない新卒を本学から採用してくださる船橋さんにお話を伺いました。

聞き手：遠藤牧人（企画調査室）／写真：株式会社JPD（j）



応接室でのインタビュー風景。左から小出美鈴さん、船橋吾一社長、高橋樹生さん、鈴木海央さん（j）

社員の家族や協力会社とも「感動」を共有する会社をつくる

—— 本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。最初に、御社のご紹介

をお願いします。

船橋：弊社は1954年創業で、私が3代目の社長です。社名は創業者でもある祖父の名前から、「弘」が「栄える」で「弘栄設備工業」となりました。戦時中、満州鉄道で設備技師をしていた祖父が戦後帰国し、その高い技術力を買われ、責任者としてたまたま赴任した山形でそのまま独立し、起業したと聞いております。

私たちの業界は一般的に「管工事業」と呼ばれおり、主に水道本管敷設等の土木系、建物内の給排水衛生や空調等の建築系の二つの「設備」があり、弊社は99%が後者を生業としている会社です。

2011年の震災の際は、お取引先の皆様にも多くの被害が出ました。当時社長であった父を本部長に即日対策本部を立ち上げ、多くのお問い合わせの中、病院や老人施設等の命に係わる施設を優先とし、連日復旧作業にあたらせていただきましたが、ガソリン等も不足する中、大変苦労しました。その心労もあったのか社長だった父がその後病に倒れてしまい、翌2012年、急遽私が社長に就任することとなりました。社長就任時に、「感動経営」という経営スタイルを考えました。「感動」はグループ会社が増えた今も会社経営のテーマとしています。コロナ禍となり、残念ながら感動を共有する機会が激減しています。現場回りも各種の交流事業も自粛で、延期や中止が続いています。私は、「家



船橋 吾一 ふなばし・ごいち

山形青年会議所理事長であった2011年に東日本大震災を経験。翌2012年3代目社長就任。関係する皆に寄り添いたいと「感動」をテーマとした経営に取り組んでいる。総合設備エンジニアリング企業として人々の居住空間を守る一方、自由な発想のもとロボット開発にも乗り出している。（j）



山形市内風間の本社社屋。創立65周年を機に市内北町から自然豊かなこの地に移転した（j）

庭でも会社でも、公私ともに感動する機会は同じであるべきだ」と考えています。家庭で何かあった時は、一緒に喜んだり泣いたりできる会社でありたいし、そういった会社を社長の私がつくらなければと思っています。感動を共有できる人に、数多く入社してほしいと考えています。

会社は社員や協力会社様の皆さんだけでなく、そのご家族様の支えがあってこそと考えています。社員向け事業の一つに家族交流会というイベントがあります。創立65周年の2018年には山形市民会館に1200名ほどが集まり、記念式典とつくさんプロデュースの高額賞金をつけたカラオケ大会やミニコンサート等を行いました。その後、社員と家族700名ほどを蔵王温泉に一泊ご招待し、ご家族様ごとに温泉と夕食を満喫していただきました。日々仕事は大変なものです、このようなイベントを通して、弊社は社員やご家族、協力会社様を「感動経営」でしっかりサポートしています。

「見えないものを見える化する」「配管くん」が業界を変革する

——ありがとうございます。さて、その「感動経営」の中で最近生まれたばかりの配管検査ロボット「配管くん」について、ご紹介いただけますか。

アップになる」と。そして、結果的には銀行や会社、大学、原発開発関係者などのサポートが得られました。

特に大きかったのは、立命館大学との技術協定でした。蛇型ロボットは立命館の技術です。私たちは設備業界という市場を提供しました。私たちは設備業界という市場を提供してくださった大阪の方の紹介でつながることができました。幸いなことに、このような御縁が私には多くあり、様々な場面で助けられました。

その後、このプロジェクトは順調に進みました。ロボットを実際に作る技術者も集まり、3年ほど前から加速、今年、製品化の運びとなりました。

「浮き沈みの経験から生まれた」「何とかする」プラットフォーム

——すばらしい成果が出ましたね。「配管くん」の開発後、会社にはどのような変化がありましたか？

船橋…設備業界では昨今、「今後生き残れるのは、大手か町の水道屋だ」と言われています。中間層の我々は、あと10年で自然淘汰されるとも言われています。それを回避するためには連携し、何かを開発し、何らかの独自性を持たなければなりません。

そこで、考えました。「配管くん」をきっかけ

船橋…言葉は良くないかもしれませんが、経営者は「どんな時にもつぶれない会社をつくる」ことが求められていると考えています。私は、「配管くん」のおかげでそれが実現できたのではないかと思っています。

「配管くん」は単なる商品ではありません。私は商品ではなく、市場を切り開くための道を創造していきたいのです。そのためにあれこれ構想した結果、生まれたのが「配管くん」です。構想する中でヒントになったのは、ドローンでした。10年ほど前だったでしょうか、橋梁の腐食状況をドローンで検査している風景に出会いました。ドローンを使った測量も見ました。どちらも、「見えないものをドローンが見える化」してくれるということでした。この考え方を配管検査にも応用しようと思いつきました。



上：蛇型配管検査ロボット「配管くん」。「設備業プラットフォーム」を築ききっかけとなった。現在はいずれも関連会社の(株)弘栄ドリームワークスが担当している／中：配管の中を進む「配管くん」。実際には見えない配管の中を自在に動き、内部を「見える化」する(j)／下：曲がり角でも自在に変形して難なく通過できるのが、蛇型ロボットの最大の特徴(j)

に、業界で同じ境遇にある会社とともに設備業のプラットフォームをつくらうと。同業者でも地域が異なれば競争は起きず、有益な情報交換ができます。名付けて「設備業プラットフォーム」「何とかしたいを何とかします!」です。全国には配管くんと似たロボット開発業者が9社ありますが、建築設備に関連したロボット



上：創立60周年と65周年のバッジ。デザインは芸工大グラフィックデザイン学科が担当(j)／右：プラットフォーム「何とかしたいを何とかします!」の幟。隣には数々の受賞歴を物語る賞状やトロフィーが…(j)

配管は通常、壁の中に隠れています。どこに通っているのかは図面を見ればよいのですが、古いビルでは、図面通りでなかったり、図面そのものが残っていない場合も多いのです。そのため余計な所まで壊してしまい、疑わしい周辺部分もすべて交換、という事態が起こります。

「配管くん」は、配管の中に入って不具合箇所をピンポイントで見つけるロボットです。言わば「配管の中に入っていくドローン」です。これがあれば、無駄な費用をかけずに壊れた箇所だけを修理することができます。

——社長のアイデアに対して、社内の評価はいかがでしたか？

船橋…「そんなものを作っても成功しない」と散々でした。でも、私は、「作るんだ」と思い続ければ、例え成功しなくても会社のイメージ

を手がける業者が5社で、設備業者はうちだけです。今、「配管くん」を前面に出して全国にパートナー企業を募集しており、14社(うち4社はグループ内の企業)が集まりました。何十社、何百社のネットワークをつくり、ビジネスモデルにしたいと思っています。

これを一企業でやろうとすると、ロボット生産だけでは採算が合いませんが、私たちは「配管くん」を売るのはなく、それを使ったサービスを提供し、新たな市場を創ろうとしています。社長就任から10年頑張つてようやく成果が出てきました。複数のメディアでも取り上げられていました。こういう成果は、採用活動においても優れた状況をつくり出してくれています。

——作業効率の改善にとどまらず、業界を活性化・変革するロボット開発には驚かされます。

「心豊かな社会」を目指す会社で働く芸工大の卒業生たち

——さて、社長にはこれまでに何名もの卒業生を採用いただいております。誠にありがとうございます。今日はそのうち3名に同席してもらっています。ご紹介いただけますか。

船橋…芸工大との関りは、一期生以来、いろいろな学科にまたがっています。わが社では節目の年にバッジを作っていますが、60周年、65周年とグラフィックデザイン学科にデザインを依



「音とりくん」は熟練の耳がなくても誰もが簡単に使える漏水確率を調べる装置。骨伝導の技術を持つ会社と共同で開発した。さまざまなご縁が新たな開発につながる (j)

コロナ禍の中で考える 芸工大との産学連携の形

——さて、そろそろまとめに入ります。コロナ禍で生活に清潔感が求められる今、設備業界には今まで以上の役割が求められているのではないのでしょうか。そういう環境下で、御社は芸工大や後援会会員企業と、どのように連携しているとお考えでしょうか。

船橋…コロナ禍で需要は高まっていますが、今は設備投資にかけられる会社、かけられない会社の二極化が進むでしょう。そういう社会状況の中で、繰り返しになりますが、私は、「どんな時代にもつぶれない会社」を経営者としての戒めをもって目指していきたいです。いろいろな

方々からアドバイスをいただきながら確立した考え方です。「配管くん」の開発、プラットフォーム、グループ12社による多角経営と経営に幅を持たせてきましたが、これからはそれをどう生かしていくかが問われます。

今、考えていることは、グループ会社のマークのリニューアルです。芸工大の原先生（グラフィックデザイン学科長）から、「グループとしての経営理念を根幹に、各社がどのようにマークをつくるか」が大切だと教わりました。技術系の会社ですから、これまでの連携先はどうしても技術系に傾きがちでしたが、「芸工大は、日々変化する会社の節目で、素晴らしい発想力でサポートしてくれる大学なのだ」という思いで連携していきたいですね。

「配管くん」は配管業界とは違うところから発想して生まれました。後援会は「発想力の芸工大」がリードしてくれる組織ですから、同じような仲間の寄り合いではない本質的な異業種交流ができる場だと思います。

——船橋社長は「設備」は、全身に血液を循環させる心臓や、呼吸により酸素を取り入れる肺、食べ物を消化吸収する胃や腸といった内臓



2021年の経営計画発表会で挨拶する船橋社長。プラットフォームに軸足を置き、さまざまな人とのご縁のもと、「感動経営」でグループ全体をけん引していく

にあたります」と会社のサイトで説明しています。建物だけでなく、社会も元気にしてくれるお話を、どうもありがとうございました。

弘栄設備工業株式会社
<http://koeisetsu.co.jp/>

編集部では、後援会会員企業と卒業生・在学生の協働した事例を積極的に紹介してまいります。会員の皆様からの情報を心よりお待ちしております。



卒業生社員たちの仕事風景/1.小出美鈴さん。現場監督を経験後、現在は本社で施工管理図を作成している (j) /2.高橋樹生さん。建築中の現場で施工図と照合しながら、施工状況をしっかり確認/3.鈴木海央さん。消火栓ポンプの試運転調整の様子。コミュニティデザイン学科で学んだことはこういう現場でも役立っている/4.高橋生恵さん。現場事務所での施工管理図の作成を担当している

頼っています。弘栄設備工業には「一人ひとりが感動を共有し、心豊かな社会をつくろう」というスローガンがあります。前半は私、後半は会長の言葉で、70周年まで使う予定です。

そういう会社で、現在4名の卒業生が仕事をしています。新入社員には会社の仕事を理解してもらうために、一定期間、現場管理部門に入ってもらいます。では、小出さんから紹介しましょう。彼女には2年前、学校にエアコンを入れる事業では、現場監督をしてもらいました。いい仕事をしてもらいましたよ。

小出…ありがとうございます。小出美鈴です。建築・環境デザイン学科を2019年に卒業しました。現場を離れた現在は、施工管理図を

CADで作成しています。芸工大での学びと現場で培った感覚が役立っています。

船橋…続いて男性二人ですが、どちらも現場管理を担当してもらっています。設備業の現場はどちらかと言えば、年配の男性が多い男の社会です。そういう場所で協力会社の皆さんにもまねながら頑張ってもらっています。

高橋…高橋樹生です。建築・環境デザイン学科を今春2021年に卒業しました。自分よりずっと経験も知識もある職人さんからいろいろ教えてもらいながら、自分の意見を伝えつつ管理しています。芸工大で意匠中心に学んだ経験が、現場を理解する上で役に立っています。

鈴木…鈴木海央です。コミュニティデザイン学

科を同じく今春卒業しました。自分も新人なので、いろいろな職人さんに助けってもらいながらやっています。学生時代に学んだ傾聴や地域に出て多様な人たちと交流した経験から、聞き上手になれました。職人さんとの対話に役立っています。

——船橋社長、卒業生の皆さん、ありがとうございます。取材には参加できませんでしたが、会社には卒業生がもう一人、高橋生恵さん（2016年建築・環境デザイン学科卒業）が働いています。卒業生たちが会社で感動を分かち合いながら、芸工大で学んだことも十分活かして、しっかり仕事をする姿が見えてきました。

「株式会社 ニューテックシンセイ」 代表取締役 栗原晃さん 「もくロック」開発の経験を活かす コロナ禍の山形に種をまく



栗原 晃
(くわばら・あきら)
1980年1月、山形県米沢市生まれ。
1998年4月(株)ニューテックシンセイに入社。情報通信機器の生産現場にて海外メーカーとの取引などを経験し、2001年カナダ・トロントに留学。帰国後は品質管理、生産技術などの業務経験を積み、2012年9月に代表取締役に就任。2013年3月、山形大学大学院理工学研究科 技術経営学を修了。(j)

今回は、木製ブロック玩具「もくロック」で知られる株式会社ニューテックシンセイの代表取締役 栗原晃さんの登場です。
世界中がコロナ禍に見舞われた今、次の一手として 栗原さんはどんな種をまくのでしょうか。

取材・編集：遠藤牧人(企画調査室)
写真：株式会社JPD(j)



上：社屋の玄関ロビーにある「もくロック」で作った「やまがたのかたち」。普段はもくロック製造に関わっていない社員にも手伝ってもらって展示用に制作した(j)/右：米沢市内の社屋。「もくロック」は別棟で製造されている(j)



本業は今も昔も 産業機械やパソコンの製造

ご存じの方も多いかと思いますが、山形には近年、世界で認められた木製玩具があります。その名は「もくロック」、間伐材を有効利用して作られる木製ブロックです。2012年6月の発売直後、国内より先に海外で評判になり、問い合わせや注文が相次いだそうです。開発したのは米沢市にある株式会社ニューテックシンセイ。今回はこの製品開発に中心的に関わり、発売後間もなく社長に就任した栗原晃社長にお話を伺いました。

「山形の木製玩具」と言えば、一般的にはこけしなどの伝統工芸が思い浮かぶでしょう。でも、「もくロック」はそれとはずいぶん違います。そのあたりから、本業の話をお話しいたできました。



「もくロック」の魅力は、素材の温もりと、遊ぶ人に創造力を働かせる余地を残していること(j)

その後、NECはパソコン事業をLenovoに売却しました。このままではいけない、と社内年長者の意見を聞き、技術の棚卸しをして次なる仕事を考えました。そこでたどり着いたのが「もくロック」でした。

自社の産業資源×地域資源で 異分野へ挑戦

栗原さんが『もくロック』にたどり着くまでには、いろいろな選択肢があったと思います。パソコンや各種機械を製造する会社が、なぜ「木製」の玩具を作ろうと思ったのか？ 栗原さんはこう当時を振り返ります。

「木材を使うというより、自然豊かな地域の資源を生かしたいと思いました。わが社は長年パソコンなど精密機器を作ってきましたから、100分の1ミリ単位の精密加工技術や品質管理

「株式会社ニューテックシンセイは1980年に設立された会社(当時の社名は新星電子有限公司)で、私は三代目の社長です。本業は創業以来、電子機器や産業用機器、各種試験機の製造で、『もくロック』は、今も副業程度です。」
「『もくロック』の開発以前、わが社が構内請負いとしてお世話になっていたNEPC(米沢事業所)が、NEC製パソコンの世界で唯一の製造工場でした。それが、2008年のリーマンショック以降、徐々に様子が変わってきて、工場の海外移転が始まりました。それまで単独でパソコンを開発してきたNECはLenovoと組むようになり、米沢事業所は世界で唯一の工場ではなくなりました。市場環境はさらに大きく変化しました。ちょうど私が経営に参画し始めたころです。」

「そして2011年の東日本大震災

には自信があります。そういった自社の産業資源と地域資源を合わせたから、模倣されたり、価格競争に巻き込まれたりすることもないですね。」
「参考にした先行事例は、鶴岡のイタリアンレストラン『アルケッチャーノ』と寒河江の『佐藤繊維』でした。どちらもとくにコモディティ化(類似品が多くて差別化しにくい)していますが、自社の技術と地域資源の組み合わせで成功しています。異分野ですが、とても参考になりました。」

「そのような考えから、最初は農業分野に参入しようと思いましたが。わが社の品質管理技術があれば、品質や生産性を上げられます。でも、調べてみると、農業はトゥリー産業で、作付けから加工まですべてやるには膨大な設



本業は今でもパソコン等情報関連機器の製造。盤石な製造業の上に「もくロック」製造がある(j)



社内の展示スペースで「もくロック」を紹介する栗原さん。こういう遊び場を世界の展示会場に作って販路を拡大してきた(j)



上：パリで開催される世界最高峰の見本市「メゾン・エ・オブジェ」の展示ブース。おしゃれな大人のためのアイテムとしても、世界に受け入れられた(写真提供：ジェットロ)／左下：会場の遊び場風景。パリっ子にも人気を博した／右下：「グリーン・アイテナリー賞」のパネル。製品とともに、米沢の森林を護り育てる活動が世界で認められた証(j)

追加するのが好きだと言います。こういう志向はわが社の今後の方向性とも合致します。プログラミングなど、今後学んでもらわなければならないことはありますが、好きな分野ならきつとやってくれると思います。」

芸工大は従来型の「モノのデザイン」だけでなく「コトのデザイン」にも力を入れていきます。今後、産学連携の幅がますます広がっていくでしょう。

**コロナ禍の山形で、
葉原さんが次にまく種は？**

「店舗やイベントでの対面販売が基本の『もくろック』は、特に海外の店舗販売が途絶えてしまい厳しいです。今は商品の本質的な価値をじっくり見つけ直し、言葉で伝える準備をしています。今後はネット通販で販路を増やしていこうと考えています。一方、パソコンは、『おうち需要』は増えたものの、半導体不足で思うように生産できません。半導体製造機械の受注は好調なんです。」

「でも、今は、次の一手を考えるにはいい時間なのです。今日の取材で、『もくろック』には、大人向けの販売戦略も必要だと感じました。芸工大さんに

協力してもらって、大人も参加できる作品コンペをぜひやってみたいです。」

「一方、全く新たな事業として考えているのが、ロボット開発です。日本では、弱電側(例えば情報関連機器など)でのロボット活用は生産ライン向けのシステム構築が追いつかず、まだ限定的です。わが社の技術があれば、そこに参入できます。ロボット製造業や商社と組んで、生産ライン向けロボット導入のサポートをサービスとして提供したいです。そのためにはデザイン力が不可欠です。ロボットと人が生産ライン上で協働するためには、圧



取材の最後に玄関で見送ってくれた葉原さん。ロボット開発だけでなく、木材加工分野でもポスト「もくろック」を探っている模様。今後の展開がとても楽しみだ(j)

迫感や恐怖を和らげるような外見や、動作が求められます。芸工大や後援会、会員企業の皆さんと、協力してやっていけたらと思います。」

会社を経営していれば、いい時ばかりではありません。でも、葉原さんは、コロナ禍の今をじっくり思索する時間に充て、未来を拓く新たな種をまいているようです。それがどんな種なのか…楽しみです。雨あがればきつと…。



さまざまな性質を持つ7種類の木材を、一度乾燥させた上で適切な含水率に調湿する。「もくろック」製造に欠かせない精密加工前の重要な工程(j)



「もくろック」製造の精密加工風景。製品は1/100ミリの精度を追及して初めて生まれる。今後はロボット導入で更なる自動化を目論んでいる(j)

備投資が必要でした。しかも、すでに大手企業が参入していて、資本力で太刀打ちできない、と考えてやめました。それに比べ、『もくろック』は木材さえあれば簡単に始められたのです。子供たちの五感に働きかける遊びを提供する、という視点もありました。」

確かに、世界的に売れるようになった今でも、『もくろック』は小さな別棟で生産されています。でも、扱ったことのない木材には戸惑いもあったのではないのでしょうか。葉原さんは答えてくれました。

「私たちには製造業で鍛えられた技術がありました。『もくろック』に使う木材は、当時は4種類、今では8種類あります。それぞれ材質の硬さや寸法変化の割合が異なるため、同じように加工すると互いにきれいに組めなくなってしまうです。でも、私たちは、

公差をどう吸収するか、部品加工や装置組立ての経験から体感的に知っていました。」

**海外からの評価を後押しし、
世界のひのき舞台で…**

さて、もう一つの課題は営業戦略ではなかったかと思えます。山形には優れた製造業がたくさんありますが、そこがネックになって販売に結び付きにくいという話をよく聞きます。しかし、『もくろック』の発売当初、それは当てはまりませんでした。

「何らかのきっかけで海外のサイトに紹介されて、火が付いたようです。問い合わせ・発注が相次ぎました。そういう経験は全くなかったため、対応は…。なぜ売れたのかは未だによくわかりません。商品に助けられたという

ことでしよう。現在は、インターネットと物流の環境、商流を理解していれば、海外との直接取引は中小企業でも何ら問題なくできると思っています。」

そして、『もくろック』は瞬く間に世界のひのき舞台へと駆け上がり、2015年1月にパリで行われた「メゾン・エ・オブジェ2015」(世界最高峰のインテリアと雑貨の見本市)で、世界で9ブランドしか選ばれない環境配慮商品に贈られる「グリーン・アイテナリー賞」を受賞したのでした。

このクラスの見本市に「一社だけ、しかも商品一つだけでは、参加すること自体が大変難しいはずなのですが…。」

「出展のノウハウについては、[EU]ROさんのアドバイスを受けましたが、商品のネーミング、パッケージやブースのデザインなどは、有名デザイナーに委託することなく、社内で意見を出し合っで行いました。それが良かったのかもしれないですね。結果的に賞を取れて、『ETRO]さんも支援して良かったと喜んでくれました。」

注目すべきは、これが子供向けの玩具の見本市ではなかったということですね。おしゃれな大人の一流品として世界で認められたことは、今後の販売のヒントになることでしょう。(その他

の受賞歴については、文末の[EU]から会社のサイトをご参照ください。)

**社長として大学院で学び、
大学で教えた経験**

さて、葉原さんは、ちょうど『もくろック』が発売された頃、山形大学の大学院に入学し、学ばれた後、2014年〜2015年には芸工大との産学連携を行っています。

「大学院では技術経営学を学びました。技術という自社の強みを経営にどう生かすか、学びを深めました。芸工大では、『もくろック』をプロダクトデザイン学科の教材として採用していただき、私も教授たちのサポートに入り、『もくろック』の遊び方を考える授業を行いました。授業の延長で、『もくろック』を卒業制作のテーマにする学生さんもいました。さらには、幼稚園向けの『もくろック』収納ケースを、教授にデザインしていただきました。」

「当時はそこまでだったのですが、来春には芸工大から初めて新卒者を採用予定で、内定を出しました。美術科総合美術コースの学生さんで、市販の模型に自分なりの工夫を施して機能を

後援会会員

241社(2021年11月25日現在) 五十音順

- (株)アイトエッジ
- あいおいニッセイ同和損害保険(株)
- 愛和建设(株)
- (株)朝日測量設計事務所
- (株)アサヒマーケティン
- (株)あじまん
- 東の麓酒造(株)
- (株)AZOTH
- (株)荒正
- (株)いそのボデー
- (株)市村工務店
- (株)井筒屋
- (株)IBUKI
- 岩崎雅幸行政書士事務所
- 羽陽建設(株)
- うるしやまタクシー(株)
- (株)ウインハウス
- (株)エイアンドシー
- (株)SHG山形ブランド
- SMB C日興証券(株)山形支店
- (株)エスパック
- (株)エフエム山形
- (株)エム・エス・アイ
- (株)エル・サン
- (株)エルティリゾートやまがた
- 遠藤商事(株)
- (株)オーイン
- (株)大風印刷
- (株)大久保硝子店
- 大田産商(株)
- オオホリ建託(株)
- (株)オカムラ
- (株)小川製麺所
- 奥村恵一郎行政書士事務所
- (株)奥山商店
- 小野建設(株)
- オビサン(株)
- オペテックス工業(株)
- (株)庄内銀行
- (株)松柏会 至誠堂総合病院
- (株)尚美堂
- 進和ラベル印刷(株)
- (株)鈴木製作所
- (株)須田医院
- (株)清水会
- (株)清昌会
- セコム(株)山形統轄支社
- (株)セゾンファクトリー
- (株)セロン東北
- 全国農業協同組合連合会山形県本部
- (株)そめこや本店
- (株)大商金山牧場
- (株)ダイバーシテイメディア
- 大和証券(株)山形支店
- ダイワボウ情報システム(株)山形支店
- 高橋一夫公認会計士事務所
- (株)高橋型精
- 高橋畜産食肉(株)
- (株)タカハタ電子
- 宝化成機器(株)
- (株)タキザワ
- (株)多田農園
- (株)田中工務店
- 田宮印刷(株)
- (株)丹泉ホテル
- (株)丹野
- (株)丹野園茶舗
- (株)丹野こんにやく
- (株)千歳建設
- (株)千歳不動産
- (株)千歳ペンション
- 長文堂
- (株)佐藤松兵衛商店
- (株)サニックス
- (株)山形サンシャイン大森
- (株)JSCコーポレーション東北支社
- (株)JTB山形支店
- (株)JPD
- (株)JES設計
- (株)シエルター
- (株)志鎌園
- (株)四山楼
- (株)ジョイン
- (株)東北環境総合サービス
- 東北電化工業(株)
- 東北電力(株)
- 東北バイオニア(株)
- (株)東北ハム
- トイエ工業(株)
- (株)富岡本店
- (株)とみひろ
- トヨタコロラ山形(株)
- (株)トヨタレンタリース山形
- 内外緑化(株)
- (株)ナウエル
- (株)永井設計
- 永田歯科医院
- (株)長門屋
- 那須建設(株)
- nano ha
- ナプロシステム(株)山形支店
- 西東北日野自動車(株)
- (株)にしむら
- 日東ベスト(株)
- 日本地下水開発(株)
- (株)ニューテックシンセイ
- 沼澤歯科医院
- ネットワーク山形(株)
- (株)ネットワークの里
- 野川商事(株)
- 野口鉱油(株)
- 野村證券(株)山形支店
- (株)ハイスタップ
- (株)ハイテックシステム
- (株)羽田設計事務所
- (株)八文字屋
- 東日本電信電話(株)山形支店
- フアースト興産(株)
- (株)フアイン
- 藤庄印刷(株)
- 富士ファイルムBI山形(株)
- 富士ファイルムビジネスインベション(株)
- 富士ゼロックス(株)
- フジテック(株)東北支店
- 布施弥七京染店
- 平成タクシー(株)
- (株)ベガスベガス
- (株)保志
- (株)ホシカワ
- (株)ホテル月の池
- (株)ホリエ
- (株)本間利雄設計事務所
- 升川建設(株)
- (株)九十大屋
- (株)マルゼン山形営業所
- 丸善雄松堂(株)仙台支店
- (株)丸俊
- ミクロン精密(株)
- みずほ銀行山形支店
- 三井住友海上火災保険(株)
- ミツバチガーデンカフェ
- (株)南東北クボタ
- みよし工業(株)
- メイク美創(株)
- (株)名月荘
- (株)メフォス 東北事業部山形支店
- (株)モス山形
- (株)モンテディオ山形
- (株)ヤガイ
- (株)矢口
- 八千代交通(株)
- (株)山形アドビュロ
- 山形いすゞ自動車(株)
- 農事組合法人山形おきたま産直センター
- 山形ガス(株)
- (株)山形銀行
- 山形空港ビル(株)
- (株)山形県観光物産会館
- 山形県行政書士会
- 山形縣護國神社
- (株)山形県自動車販売店リサイクルセンター
- 山形建設(株)
- 公益社団法人山形県宅地建物取引業協会
- 山形県民共済生活協同組合
- 公益社団法人山形交響楽協会
- (株)カキザキ山形国際ホテル
- 山形酸素(株)
- 山形市農業協同組合
- (株)山形商美社
- 山形食品(株)
- (株)山形新聞社
- 山形信用金庫
- (株)山形第一不動産
- (株)山形テレビ
- 山形トヨタ自動車(株)
- 山形農業協同組合
- 山形バナソニック(株)
- (株)山形ビニール商会
- (株)山形ビルサービス
- (株)山形部品
- 山形放送(株)
- (株)山形丸魚
- 山形陸運(株)
- 山形ワシントンホテル(株)
- (株)ヤマコ
- (株)ヤマコン
- (株)ヤマザワ
- 山新観光(株)
- (株)山新広告社
- (株)山田鶏卵
- (株)山本組
- 悠湯の郷ゆき
- 由良温泉八乙女
- (株)よしだ
- (株)吉田段ボール
- 恵埜画廊
- (株)蘭企画
- リコージャパン(株)山形支社
- 両羽協和(株)
- 菱機工業(株)仙台支店
- (株)旅館古窯
- リンベル(株)
- (株)レンタルブラザ
- 和田酒造(株)
- 渡辺包装(株)

本紙、および後援会HPに掲載すべき情報をお寄せください。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



後援会ホームページは
こちらから